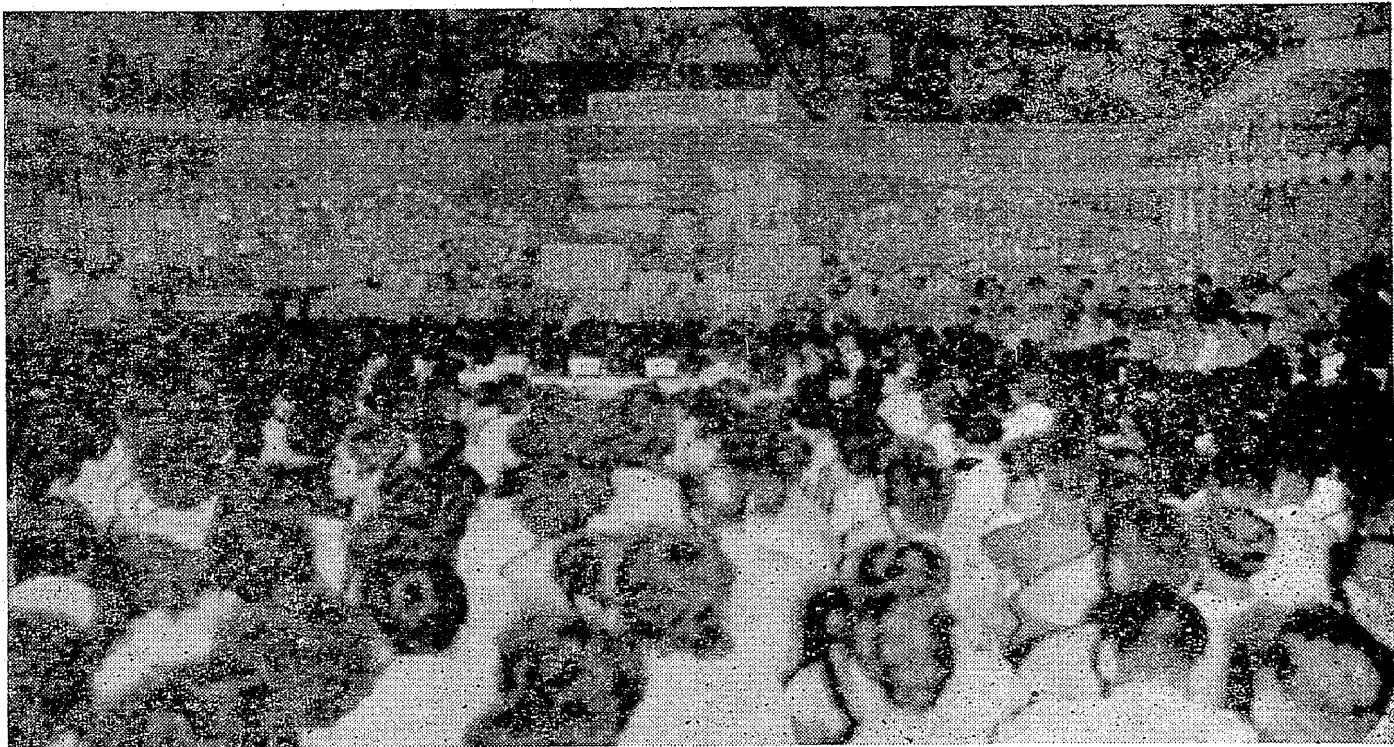


三池遺族の越盆座り込み闘争

写真説明

- (上) 8.14夜、全遺族・主婦・組合員 7,000名は、三池鉱業所本館前で初盆大集会を迎えた
- (中右) 8.15夜「精霊船」を諏訪川から送る。
- (中左) 8.14夜の大集会で焼香する遺族たち。
- (下左) 8.1 夕刻、遺族代表の抗議。右端は遺族会長丸山昇さん。前面は三池鉱業所幹部。
- (下右) 大会議室からあふれ出た「ろう城座り込み」抗議団。



初盆供養・追とう大集会

われわれの誓い

本日は、各友誼団体の代表および外国の宗教代表の方々をお招きできたことを、厚くお礼申しあげたいと思います。

同志のみなさん、あの歴史的な「ホッパー」のたかいで、敵の警官隊と対決しつつ感激をもってうたった「炭掘る仲間」を、この初盆の大集会で遺影を前にして生き残った者としてうたおすとは思いませんでした。

あくまで「三池斗争が正しかったことを証明できる日まで、共にたたかおう」と誓い合った、同志のみなさんのみだりに、あらためて敬意と感謝をさげます。

しかし、資本の狂暴な合理化は、ついにあなた方の命までもうばい、ガス中毒でまた記憶ももたない同志たちが数百年もいるのです。

三井鉱山が、ほんとうに責任を少しでも感じているとするなら、あなた方の心残りとした最愛の方々に、今日の初盆までには、安心してこれから生活ができるようになったはずです。

私たちの力も不足していたと反省しますが、初盆供養・追とう大集会



組合員 宮川 睦 男

一九六四年八月二四日

どうか安らかにやすみ下さい。

遺族と家族全員の中心斗争であると思えます。

再び犠牲者を出さないために、遺族・被災者をつなぐ力をあけてたたかうことが、三池

闘争の真意です。

悪いものは悪いのだ、これが三池斗争の歴史なの

です。

私たちが早、たまってはいけません。早急に三

井鉱山の責任について「告訴」しなければならな

いというところを、まことに残念に思っております

先日、三河島の列車事故で、国鉄労組の仲間たち

が十数名も有罪という求刑を受けましたが、われわ

れ労組がナゼ罪を被るなければならぬのか。

四五八名を殺した三井鉱山は、何ら責任をとって

はいない、その罪を追及されてもいない。

私たちは早、たまってはいけません。早急に三

井鉱山の責任について「告訴」しなければならな

いというところを、まことに残念に思っております

先日、三河島の列車事故で、国鉄労組の仲間たち

が十数名も有罪という求刑を受けましたが、われわ

れ労組がナゼ罪を被るなければならぬのか。

四五八名を殺した三井鉱山は、何ら責任をとって

はいない、その罪を追及されてもいない。

私たちは早、たまってはいけません。早急に三

井鉱山の責任について「告訴」しなければならな

いというところを、まことに残念に思っております

先日、三河島の列車事故で、国鉄労組の仲間たち

が十数名も有罪という求刑を受けましたが、われわ

れ労組がナゼ罪を被るなければならぬのか。

四五八名を殺した三井鉱山は、何ら責任をとって



若十の経過について

昨年二月九日の三池大震災は三井鉱山はじめ独占資本の「命まで奪う」という合理化攻撃の本質をばくろして余すところがありませんでした。

しかし、その後の三井鉱山は、不当極まる差別・切り崩し・組合弾圧などについては是正を「労資関係の正常化」という形で公約までしておきながら、ついにより以上に苛酷で不法な要求を炭労・三池労組に提案し、交渉は七月九日「決裂」するに至りました。

要するところ、月額一人一、一〇〇円の金一封で「スト権」を売りわたす、生産性向上委員会を労資間に設定した第二組合と同じ姿勢になれば、ということです。

したがってあの大爆発後の中央協定も、実質的にはサボられ、遺族一六三名・ガス中毒患者七四〇名にたいする誠意は、日を経るに従ってますます、殉職者が二名も出るという相変らぬ生産第一主義に終始している実情です。

今回の遺族の座り込みは、三池鉱業所本館内の「ろう城」で八月一日からの突入であり、その要求は(1)期末手当の山元交渉でガス中毒患者に一律一〇〇% (三三、〇〇〇円) 支給した会社がナゼ遺族には約七〇%しか払わないのか(2)遺族の職業訓練後 (一〇月一日) の賃金・労働条件をナゼ決めないのか(3)未就労三〇名をどうしてやるのか、という切実なものばかりです。

三池労組・三池主婦会は、遺族・被災者を守ることを基本斗争として決定し、すでにストライキに突入しつつ、三池労組全員のたたかいとして、あくまで三井鉱山の責任追及に決起しております。

三井鉱山は反省どころか「座り込みは暴力行為だ」と弾圧態勢を布き、われわれ全員も斗志を燃やしている状況であります。

みなさんのふかいて理解を切望してやしません。(八月一六日)